

1. 本誌は日本職業・災害医学会の機関誌であるので、投稿者ならびに共同執筆者も会員に限られる。
2. 投稿原稿は職業医学並びに災害医学に関する医学の進歩に寄与する原著論文、総説、展望、シンポジウム、症例、その他であって、他誌に掲載または投稿中でないものに限る。
3. 原稿の採否、掲載順序は編集委員会できめる。原稿に加除補正を要請することがある。
4. 原稿はつぎの様式によること。
 - (1) 和文原稿はワードプロセッサを用い、A4判用紙に800ワード(できれば40字×20行)で作成し、頁数を必ず記入する。用語は常用漢字、現代かなづかい、日本医学学会用語を用いる。英文原稿はA4判紙にダブル・スペースにてタイプすること。原稿は、データを入れたメディア(CD, USB, FD, MO)とプリントアウトしたもの3部(本体を1部とコピーを2部)を必ず提出すること。
 - (2) 表紙には①表題、②著者、所属、③キーワード、④別刷請求先、⑤別刷希望部数(50部まで無料)、⑥著者の連絡先(電話番号、FAX番号、Emailアドレス)を記載する。
 - (3) 外来語、動植物の学名、外国人名および外国地名などは片かなまたは原語で書くこと。文中の欧文はタイプするか、活字体で明瞭に書くこと。
 - (4) 数字は算用数字を用い、度量衡の単位はkg, g, mg, μ g, ng; l, dl, ml, μ l; m, cm, mm, μ , nmなどとする。例えばmg/dlまたはng/ml, mg/kg/d(体重kg当り毎日), 37°C
 - (5) 和文原稿には800字以内の論文要旨(目的、対象、方法、結果、結論を含む)および英文抄録(ダブル・スペースにタイプ)をつけること。英文原稿には、和文の論文要旨(800字以内)をつけること。
 - (6) 英文原稿および英文抄録は、英語を母国語とする外国人の校閲を受けた後、投稿すること。
 - (7) 索引の分類に用いるため必ずキーワード3つ以内を和文および英文でそれぞれ付記すること。
 - (8) 図(写真を含む)および表は出来る鮮明なものを、データとの対比確認用に別紙とし図1、図2、表1、表2、のように番号をつけ、原稿にはそれぞれの組み込み場所を指定し、文中の図、表、の記載も図1、表1、とすること。印刷に不相当である図表原稿は書きかえることがある。この場合の経費は著者負担とする。
 - (9) カラー印刷はご希望により掲載する。その際は図・表のカラープリントしたものを同封のこと。ただし、製版、印刷の実費は著者負担とする。
 - (10) 引用文献は主要文献のみとし、記載の順序は引用順とする。様式は下記によること。
 - A. 学術雑誌よりの引用
 - ① 著者名 著者3名まで連記し、それ以上にわたるときは他(et al)とする。但し全部で4名のときは全員連記。
 - ② 論文名(題名)
 - ③ 掲載誌名
 - ④ 巻数、なお号数をいれるときには巻数(号数)とする(例示の(b)参照)。
 - ⑤ 何頁から何頁まで
 - ⑥ 発行年(西暦)

例示) 著者氏名, 著者氏名, 著者氏名, 他: 論文名, 掲載誌名 巻(号): 開始頁—終了頁, 発行年.

 - a) 山田太郎, 川上 肇, 木村 茂, 佐藤元次: 小児および青年の胆道疾患. 外科 30: 413—420, 1975
 - b) Weber AM, Roy CC, Morin CL, et al: Malabsorption of bile acids in children with cystic fibrosis. N Eng J Med 289: 1001—1005, 1973. …… N Eng J Med 289 (5):1001—1005, 1973.
 - B. 単行本からの引用(個人が著者の場合)
 - ① 著者名(上記と同じ)
 - ② 題名
 - ③ 書名
 - ④ 版
 - ⑤ 出版地(例えば京都)
 - ⑥ 出版社
 - ⑦ 発行年(西暦)
 - ⑧ 巻
 - ⑨ シリーズ名
 - ⑩ 掲載頁(略記なし)、何頁から何頁まで

例示) 著者氏名: 題名, 書名, 版, 出版地, 出版社, 発行年, Vol 巻, シリーズ名, pp 開始頁—終了頁.

 - a) 審良正則, 森永謙二: 臨床からみた石綿関連疾患 第1節 石綿肺, 職業性石綿ばく露と石綿関連疾患 基礎知識と労災補償. 改訂新版. 東京, 三信図書, 2005, pp 161.
 - b) Steel RGT, Torrie JH: Principles and Procedures of Statistics. New York, McGraw-Hill, 1960, pp 112—121.
 - C. 単行本からの引用(編者等が著者と異なる場合)

例示) 著者氏名: 題名, 書名, 版, 編者氏名編, 訳者氏名訳, 監修者氏名監修, 出版地, 出版社, 発行年, Vol 巻, シリーズ名, pp 開始頁—終了頁.

 - a) 審良正則, 森永謙二: 臨床からみた石綿関連疾患 第1節 石綿肺, 職業性石綿ばく露と石綿関連疾患 基礎知識と労災補償. 改訂新版. 森永謙二編. 東京, 三信図書, 2005, pp 161.
 - b) Leone G, Bizzi B, Acorra F, et al: Functional aspect of platelets in diabetes mellitus. Platelets Aggregation and Drugs. Capprino L, Rossi EC, editors. New York, Academic Press, 1974, pp 49—61.
 - D. 単行本からの引用(著者の表記が無い場合)

例示) 編者氏名編, 訳者氏名訳, 監修者氏名監修: 論文名, 書名, 版, 出版地, 出版社, 発行年, Vol 巻, シリーズ名, pp 開始頁—終了頁.

 - a) 森永謙二編: 臨床からみた石綿関連疾患 第1節 石綿肺, 職業性石綿ばく露と石綿関連疾患 基礎知識と労災補償. 改訂新版. 東京, 三信図書, 2005, シリーズ名, pp 161.
 - b) Capprino L, Rossi EC, editors: Functional aspect of platelets in diabetes mellitus. Plate-

lets Aggregation and Drugs. New York, Academic Press, 1974, pp 49—61.

なお、引用文献中 雑誌名の略記には Index Medicus, 日本医学雑誌略名表(日本医学図書館協会編)の形式によることとし欧文文献名はなるべくタイプすること。

E. ウェブサイトからの引用

- ①著者氏名
- ②ウェブページの題名
- ③ウェブサイトの名称
- ④更新日付
- ⑤入手先
- ⑥入手日付

例示) 著者氏名: ウェブページの題名, ウェブサイトの名称, 更新日付, 入手先, (入手日付).

a) 中央初回保険医療協議会. 平成 22 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(平成 22 年度調査)の結果について. 厚生労働省.

2010-9-7. <http://www.mhlw.go.jp/stf/singi/2r9852000001mxe9-att/2r9852000001olga.pdf>. (参照 2014-11-03).

b) NCCN Guidelines. National Comprehensive Cancer Network.

http://www.nccn.org/professionals/physician_gls/f_guidelines.asp#site, (accessed 2014-11-03).

F. 参考文献

成書からの引用が数カ所以上にわたるときにはそれぞれの頁数の記載は不要。

5. 掲載料は次表の頁数の範囲内は無料とする。超過分の所要経費は著者負担とする。なお、特急掲載の場合は全頁著者負担とする。

| | |
|--------------|--|
| | 刷り上り頁数(図, 表, 写真, 引用文献などを含む。1頁は約1200ワード。) |
| 総説 展望 | 9頁(約10,800ワード)以内 |
| 原著 シンポジウム | 7頁(約8,400ワード) ♪ |
| 症例 | 5頁(約6,000ワード) ♪ |

ただし、シンポジウム、パネル等は原著に準ずる。

6. 別刷は論文1篇につき、別刷50部は無料とする。50部を超過する分の実費は著者負担とする。著者校正の際、希望部数を原稿第1頁上部欄外に朱書しておくこと。
7. 校正の初稿は著者校正とし、その返送期日を厳守されたい。再校は編集委員会があたる。
8. 論文内容の倫理性を十分配慮する。臨床研究ではヘルシンキ宣言を遵守し、必要あればインフォームドコンセントの有無について明記する。また症例患者は匿名とし、患者が特定できる事柄は記述しないこと。動物実験では、動物の保護および管理に関する法律または各研究施設の倫理委員会の承認のもとに行なわれたことを明記する。
9. 掲載論文の著作権は日本職業・災害医学会に帰属する。(電子媒体も含む。)投稿にあたり共同執筆者を含め著者全員が署名した「著作権譲渡同意書」(別紙)を添付する。
10. 筆頭著者は利益相反(COI)の有無に関わらず、著者全員の過去3年間(投稿時点の前の年から)におけるCOI状態を、「自己申告によるCOI報告書」(別紙)に記入し、添付する。
なお、編集委員会では自己申告によるCOI報告書に基づき利益相反の審査を行い、その結果を掲載論文末尾に掲載する。
11. 原稿の送り先は下記とし、必ず簡易書留にて郵送のこと。

〒211-8510 神奈川県川崎市中原区木月住吉町1-1
総合研修センター内
日本職業・災害医学会編集委員会
TEL 044-430-5236 FAX 044-430-5237

日本職業・災害医学会誌編集委員会

岡崎 裕司 (委員長)

井上 邦雄, 上野 哲, 恩田 秀寿, 加地 正人, 金子 麗奈, 河井 良智, 岸本 卓巳, 木下 弘壽, 久保田昌詞,
小林 一女, 佐藤 新兵, 佐藤 仁, 佐藤 譲, 周藤 高, 白石 貴寿, 杉尾雄一郎, 杉山 政則, 杉山 好美,
住田 幹男, 竹田 克明, 立澤 孝幸, 田中宏太佳, 角田 正史, 豊田 章宏, 檜館 民恵, 丹羽 一貴, 華山 直二,
東川 晶郎, 平居 義裕, 古川 良子, 堀江 彰久, 三上 容司, 満田 正樹, 宗像 正徳, 山本 晴義, 山本 康,
矢本 希夫, 柚本 和彦, 横地 章生

著作権譲渡同意書

日本職業・災害医学会 編集委員会御中

年 月 日

論文名：

標記論文は、その内容が他誌に掲載されたことはなく、また他誌に投稿中でないことを認めます。また標記論文が、「日本職業・災害医学会会誌」に掲載された場合は、その著作権を日本職業・災害医学会に譲渡することに同意します。

筆頭著者署名

共著者署名

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

注：全著者の名前を筆頭著者（署名）、共著者の順に列記して下さい（捺印は不要です）。
本頁をコピーしてご利用ください。

日本職業・災害医学会会誌：自己申告による COI 報告書

著者名： _____

(共著者を含む)

論文題名： _____

(著者全員について、投稿時点の前の年から過去3年間および出版受理時点までの期間を対象に、発表内容に係る企業・組織または団体とのCOI状態を著者ごとに自己申告記載)

| 項目 | 該当の状況 | 有であれば、著者名：企業名などの記載 |
|---|-------|--------------------|
| ①報酬額 1つの企業・団体から年間100万円以上 | 有・無 | |
| ②株式の利益 1つの企業から年間100万円以上、あるいは当該株式の5%以上保有 | 有・無 | |
| ③特許使用料 1つにつき年間100万円以上 | 有・無 | |
| ④講演料 1つの企業・団体からの年間合計50万円以上 | 有・無 | |
| ⑤原稿料 1つの企業・団体から年間合計50万円以上 | 有・無 | |
| ⑥研究費・助成金などの総額 1つの企業・団体から、医学系研究（共同研究、受託研究、治験など）に対して、申告者が実質的に用途を決定し得る研究契約金で実際に割り当てられた100万円以上のものを記載 | 有・無 | |
| ⑦奨学（奨励）寄付などの総額 1つの企業・団体からの奨学寄附金を共有する所属部局（講座、分野あるいは研究室など）に対して、申告者が実質的に用途を決定し得る研究契約金で実際に割り当てられた100万円以上のものを記載 | 有・無 | |
| ⑧企業などが提供する寄付講座 実質的に用途を決定し得る寄附金で実際に割り当てられた100万円以上のものを記載 | 有・無 | |
| ⑨旅費、贈答品などの受領 1つの企業・団体から年間5万円以上 | 有・無 | |

(本 COI 申告書は論文掲載後所定の期間保管されます)

(申告日) 年 月 日

Corresponding author (署名) _____ (印)

注：著者全員の COI 状態を記載してください。本頁をコピーしてご利用ください。